

救出の基礎は日々の訓練！

さまざまな活動を行う消防団において、その資本となるのは体と技術。普段から体を鍛え、重いホースを持ったり、連携を深めるため、合同訓練を行うなど、日々努力は惜しみません。また近隣の区・自治体との合同訓練も行っています。毎年実施している訓練大会では、分団ごとにチームを編成し、日頃の訓練の成果を披露しています。今年は見事なチームワークを見せた南分団が優勝しました。



今年6月の訓練大会の様子



優勝した南分団の皆さん

区民の誇りです!!

平成24年2月23日(木)、厚別消防団は第64回日本消防協会定例表彰団体表彰「表彰旗」を受賞しました。この表彰は、「規律厳正にして技能熟達し、かつ、各般の施行充実し、平素能く消防の使命達成に努め、その成績抜群で一般の規範である消防団」という厳しい基準を満たした全国で40の消防団にのみ贈られるもの。厚別消防団の日頃からの防火防災活動が評価された、とても価値のある受賞です。厚別消防団が、全国でも高く評価されていることは、区民にとってもうれしいことですね。



「表彰状」と「表彰旗」を持つ団員の皆さん

消防団が抱える問題…団員の減少と高齢化

全国に最多200万人いた消防団員は、現在90万人まで減少。厚別消防団も例外ではなく、定員130人のところ109人と、充足率は83.8%で全国平均の94.1%を下回っています。また、厚別消防団の平均年齢は52.0歳で、全国平均の38.5歳を大幅に上回っています。

実際に大規模災害が発生し対応を行う際には、やはり若い世代の力は必要不可欠です。

今後の消防団の組織を継続・発展させるためにも、20～30代の新団員の確保が必要です。

消防団員
となって
取り組む

消防団員 募集中!!

区内に在住または通勤、通学している18歳以上の方を募集しています。活動を通じて育まれる強い絆も魅力です。ご興味のある方は厚別消防署までお問い合わせください。



自分たちのまちは自分たちで守る!という熱い想いを持つ消防団員をお待ちしています。

厚別消防団副団長 はなだ さだあき
花田 了彰さん

自分たちが
できることに
取り組む

ちょっとした意識の向上が 自分を守る

まずは一人一人が日頃から防災の意識を高め、災害に備える行動をしましょう。また、大災害が起きた時、地域の力が支えとなります。地域でも支えあいの体制を作るなど検討してみてもいかがですか？



一人一人の防災意識が、大災害を防ぎます。できることから取り組みましょう。

厚別消防団副団長 なかの かつひろ
仲野 勝廣さん

“地域の防人”として期待

いちかわ ひろし
市川 弘 厚別消防署長

厚別消防団は、明治29年に隣人を愛すと名付けて結成した「愛隣組」がその礎となっています。

今もその精神が引き継がれ“地域の防人”としてきめ細やかな消防・防災活動を展開されておりますが、「災害のないまち 厚別」の実現に向け、ますますのご活躍をご期待いたします。



地域に「安心」をつくりたい

たけうち みさお
厚別消防団長 竹内 操さん

消防団はこれまで、一人一人が市民を守るという使命感を持ち、危険を顧みず活動してきました。また、郷土愛を持ち、仲間との絆を深めてきました。この精神は現在も引き継がれています。これからも地域に「安心」をより多くつくるため、積極的に活動していきます。